令和５年３月 6～19 日
家庭基礎「高齢者との交流授業」
　清須市　寿会の方をお招きして、世代間交流を行いました。どのような青春時代を過ごされたか、現在どのような生活を送っていらっしゃるかなどお話を伺いました。
　生徒自身の「在り方」や「将来」を考える機会になりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

生徒から参加された方へ（一部抜粋）
　家族以外の高齢者の方とお話しする機会が、今までなかったのでとても緊張していましたが、〇〇さんがとても明るく話してくださったので、時間が経つのがあっという間でした！私も将来について考えられていなくて悩んでいましたが「大人になってからでもやりたいことはやれる」という言葉に励まされました。未来の自分をつくるのは今の自分だと思うので、大人になって後悔しないようにしたいと思います・・・

カンボジアへ支援に行かれたお話、子どもの頃、楽しかった事や苦労したことなどためになるお話をありがとうございました。今でも支援などたくさんの慈善活動をしていらっしゃる〇〇さんのお話をきいて、私も自分のやりたいことをしっかりと決めて人生を楽しみたいと思いました・・・

今、私たちが高校に通えていること、母親と会話ができていること、当たり前だと思っていることが、普通じゃない。毎日、安全な日々を送っていることに感謝しています。今の当たり前を大切にしていきたいと思いました。・・・

・・・私は今、高校２年生で進路に悩んでいる時期でしたが、〇〇さんの「目標さえあればなんとかなる」という言葉に救われました。昔は進路を自分で選べなかったということを知り、進路を選択できるありがたさを学ぶことができました。・・・

令和５年３月13日（月）２年２組
講演「社会福祉の仕事とは」
　社会福祉協議会より生活支援コーディネーター　佐々木　景様を講師にお迎えし、ご講演いただきました。

生徒の感想より
　社会福祉は色々な仕事や場面、身近な人やものと関係があることがわかった。弁護士と関係あることは知らなかったので驚いた。支援が必要な人に対して多くの人たちがその人の仕事からの視点で考え連携していることが分かった。社会福祉は自分にはあまり関係がないと思っていたので、今の自分にも将来就く仕事にも関係があることを知り、社会福祉のイメージが変わった。

「福祉の仕事は大変なのか」という問いに対して、「大変だけど・・・」という回答が多くやりがいや人間関係が一番大切ということに納得した。社会福祉は一部のものではなく、とても広いものであることを知った。